

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月13日

1. マスクは新型コロナ感染を減らす：大規模調査結果で証明
2. 濃厚接触者のマスク着用有無別感染率：広島県：マスクで感染が6割減少

【松崎雑感】

医療施設ではなく、市民生活の場で、マスクがどれくらい新型コロナ感染防止に役立っているかの調査がやっと出てきました。バングラデシュでは、マスク着用率が42%の地域では13%の地域と比べて、感染率が1割以上減りました。広島県の濃厚接触者の調査では、濃厚接触時マスクをしていると感染リスクが半減するという事でした。「マスクは意味がない」のではなく「感染を少なくとも半分にできる」効果的な対策であると思います。

マスクは新型コロナ感染を減らす：大規模調査結果で証明

Peeples L. **Face masks for COVID pass their largest test yet.** **Nature.** 2021 Sep 9. doi: 10.1038/d41586-021-02457-y. Epub ahead of print. PMID: 34504329.

厳格な調査で、サージカルマスクが、新型コロナ防止に効果があることが分かった。しかし布マスクの効果は低かった

バングラデシュで実施されたゴールドスタンダードの臨床トライアルで、フェイスマスクの新型コロナの感染を防止することが明らかにされた。これまでの数百件の調査研究結果を改めて支持する結果である[1]。

これまでマスクの効果を疑問視する人々は、マスク着用者と非着用者を適切な無作為化によって振り分けるトライアルが行われていないことを批判してきた。

しかし今回のバングラデシュの調査は35万人の市民を無作為抽出して実施された。

著者は、サージカルマスクを配布して、着用を積極的に進めた集落では、新型コロナ感染率が有意に低下したと報告している。

布マスクにはそのような効果は証明されなかった。

スタンフォード大学感染症学者アシュリー・スティチンスキ氏とハーバード大学医学部ディーパク・パット氏のチームは「この研究でこれまでの論争にけりが付けられた。科学的厳密さに支えられた証拠をつかむことができた」と語っている。

スティチンスキ氏のチームは、地域の集まりで保健担当者からマスク着用を勧めるというやり方で、このトライアルを始めた。

この結果、マスク着用率は、着用勧奨のない地域で13%、着用勧奨の行われた地域では42%と3倍増えた。

この結果、新型コロナ有症状感染者は、マスク着用勧奨地域で9%減少した。

しかし無症状感染者あるいはWHOのPCR検査対象から外れた人々は検査していないため、実際の減少率はより大きいと考えられる。

マスク素材の違い

感染低下率は、サージカルマスクで11%、布マスクで5%だった。

この数字は、エール大学経済学者ムシュフィック・モバラク氏のチームが行った実験結果と合致している。

それによれば10回洗浄後の新型コロナウイルスサイズの微粒子阻止率はサージカルマスクで76%、3層布マスクでは37%だったという。ただしこれらのデータはピアレビューされていない。

それまで布マスクを使っていたUCSFの感染症医モニカ・ガンディー氏はこの調査結果を受けて「ピンクのサージカルマスクを買った」と述べた。

感染歴とマスク着用歴の自己申告に基づいた別の無作為抽出臨床トライアルの成績も発表されている[2]。

マスクは、ワクチン入手が困難なバングラデシュなどの低中所得国における主要な感染防止手段となるだろう。

今回の調査結果が、米国において、マスク着用義務を緩和するという好ましくない政策の見直しにつながれば幸いだ」とモバラク氏は語った。

濃厚接触者のマスク着用有無別感染率： 広島県：マスクで感染が6割減少

Sugimura M (Department of Public Health and Health Policy, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University), et al. **The Association between Wearing a Mask and COVID-19.** *Int J Environ Res Public Health*. 2021 Aug 30;18(17):9131. doi: 10.3390/ijerph18179131. PMID: 34501719; PMCID: PMC8431493.

【要旨】

広島県における調査。新型コロナ感染者の濃厚接触者の追跡データ。

感染の有無と濃厚接触時のマスク着用の有無を比較。災害時診療概況報告システム(Japan-Surveillance in Post Extreme Emergencies and Disasters: J-SPEED)を活用。

対象は濃厚接触者820名。53.3%が濃厚接触時マスク着用あり(残念ながらマスク種類は不明:松崎)。

感染率はマスク非着用者で16.4%、マスク着用者で7.1%。マスク着用により感染が40%低下 (Adjusted RR = 0.6, 95%CI = 0.3-0.9)。

マスク着用で新型コロナ感染率を減らせることが明らかにされた。